

2016年9月5日

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」

「サンタ・クルス病院医療機材整備計画」に係る
草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式について

在サンパウロ日本国総領事館

去る9月5日（月）午前10時より、「サンタ・クルス病院医療機材整備計画」に係るサンタ・クルス日伯慈善協会への我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式を行いました。式典には中前隆博／在サンパウロ日本国総領事、レナット・石川／サンタ・クルス日伯慈善協会理事長、クララ・セッテ・ウィータケル・フェレイラ／サンパウロ市保健局市立病院健康管理ディレクター他約40人が出席しました。

会場：サンタ・クルス病院 <Hospital Santa Cruz>

住所：Rua Santa Cruz, 398 Bairro Vila Mariana - São Paulo (SP)

CEP: 04122-000

電話番号：(11) 5080-2000

来賓の挨拶：

●出席者の挨拶：

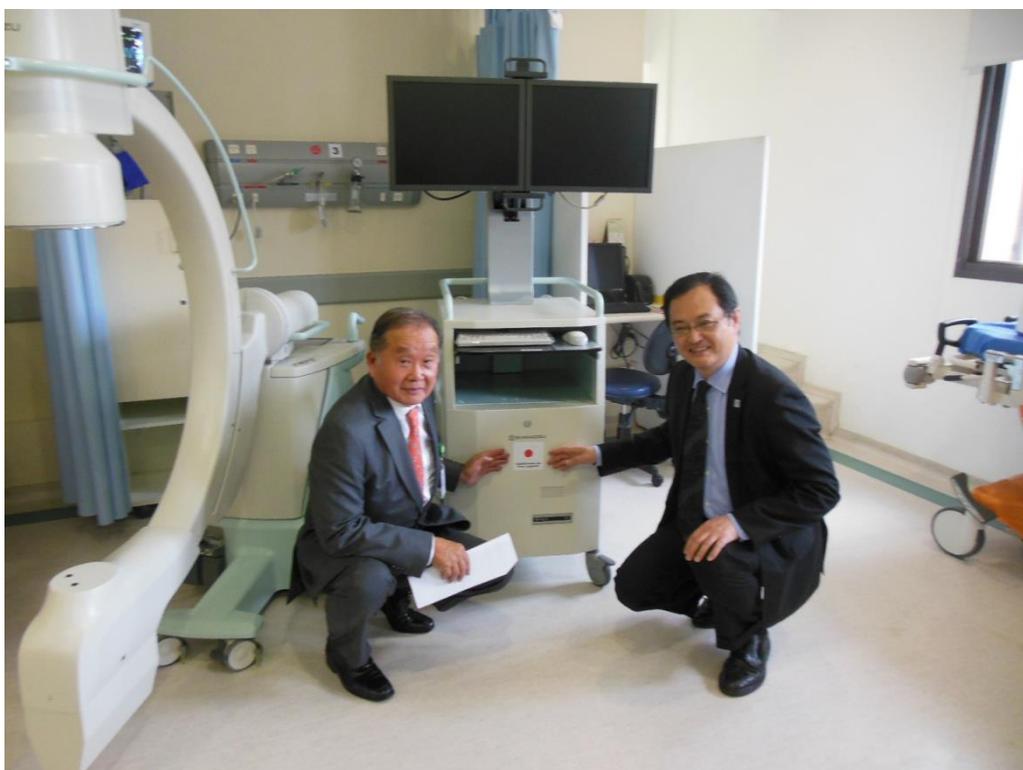
中前隆博総領事：「今回、日本政府から新たに医療機材を整備するために無償資金協力を行う。一昨年8月の安倍首相訪伯時の日系社会支援並びに医療・保健分野における日伯両国間の協力促進の表明のフォローアップとして実現したもの。設立以来日本移民、日系人に一貫して寄り添ってきた日系病院としての

貴団体の活動に敬意を表する。この資金協力による機材の整備によって、日系病院という枠から更に地域の中核病院として末永い活動に資することを祈っている。貴団体の益々の発展に少しでも貢献できることは我々にとっても大変な喜びである。」と祝辞を述べました。

レナット・石川理事長：「今年、病院は慈善協会として77周年を迎えた。日本政府から医療機材を支援していただいたことに心から感謝申し上げます。この支援による新しい医療機材の活用により当病院は設備の拡充が為され、ひいては両国間の絆は深まることとなる。あらためて、協力戴いたことに日本国民へ感謝の気持ちと敬意を表したい。」と謝辞を述べました。

クララ・セッテ・ウィータケル・フェレイラ/サンパウロ市市立病院健康管理ディレクター：「アレサンドレー・パジリャ保健局長の代理として発言する。サンパウロ市SUS（統一医療保険システム）の運営者としてこの支援について病院及び日本政府へ感謝する。」と謝辞を述べました。

供与式写真



左よりレナット・石川理事長、中前総領事、



右より中前総領事、クララ・セッテ・ウィータケル・フェレイラ・ディレクター、
レナット・石川理事長



中前総領事、レナット・石川理事長、クララ・セッテ・ウィータケル・フェレイラ・ディレクター及び供与式関係者

○上記案件のプロフィール

案件名： 「サンタ・クルス病院医療機材整備計画」

被供与団体： 「サンタ・クルス日伯慈善協会」

プロジェクト実施地： サンパウロ州サンパウロ市

契約書名式日： 2016年3月16日

供与額： 1, 419, 476. 28リアル

●案件概要: サンタ・クルス日伯慈善協会・サンタ・クルス病院は1926年に設立され、現在はベッド数166、医療チームとして約2,000人の医師が登録されており、これらの医療チームは専門知識を有するハイレベルの有資格者であり、病院が提供するサービスに全幅の信頼が寄せられています。

サンタ・クルス病院の2015年の診察数は、約119,000件であり、当該病院は年間約14,000件の手術を行っていますが、各種医療機材の老朽化が進んでいたため治療に対応できる最新の機材の整備を要望していました。

今回の協力は、心電図配録器(2)、ベッドサイドモニター(18)、サポートモニター(2)、セントラルモニター(1)、除細動器(2)、ファイバースコープ(1)、ストレッチャー(20)及び外科手術用スコープ(1)の整備に対し支援を行うもので、草の根・人間の安全保障無償資金協力として、1,419,476.28レアルの資金を供与しています。この医療機材の購入により、より高度な治療が可能になることで地域社会への貢献等が期待されます。なお、今回の供与機材は全て日本の医療機器メーカーの機材です。

(お問合せ先) 在サンパウロ日本国総領事館経済班

(0 x x 1 1) 3 2 5 4 - 0 1 0 0